

2023年 全日本カート選手権 OK部門 第1戦・第2戦
2023年 全日本カート選手権 FS-125CIK部門 第1戦・第2戦
2023年 全日本カート選手権 EV部門 第1戦

2023年 4月 28日
競技長

ブリーフィング資料

資料には、本コースにおける注意事項や特に注意いただきたい事項を抜粋して記しています。関連規則書と合わせてご確認ください。

【ダミーグリッド・ウェイトング(ダミーグリッド入場前待機)エリア・ピット】

- 1) ダミーグリッドは、メインストレート上とする。
- 2) ダミーグリッドへ移動する場合、6番ピットから入場し、走行前チェックを受けること。
- 3) ウェイトング(ダミーグリッド入場前待機)エリアは、7番ピット～16番ピット前までのコンクリート上とする。 ※アスファルト上はピットロードのため進入禁止。
- 4) ピット作業エリアは、1番ピット～5番ピット前のコンクリート上とする。
※アスファルト上はピットロードのため、ピット作業は禁止。

【ウェイトング(ダミーグリッド入場前待機)エリア】

7番～16番ピット前コンクリート部分
パイロンにより区画されたエリア(ピットロード出口寄り)

【ピット作業エリア】

1～5番ピット前コンクリート部分
(コントロールタワー寄り)



【ピットロード】

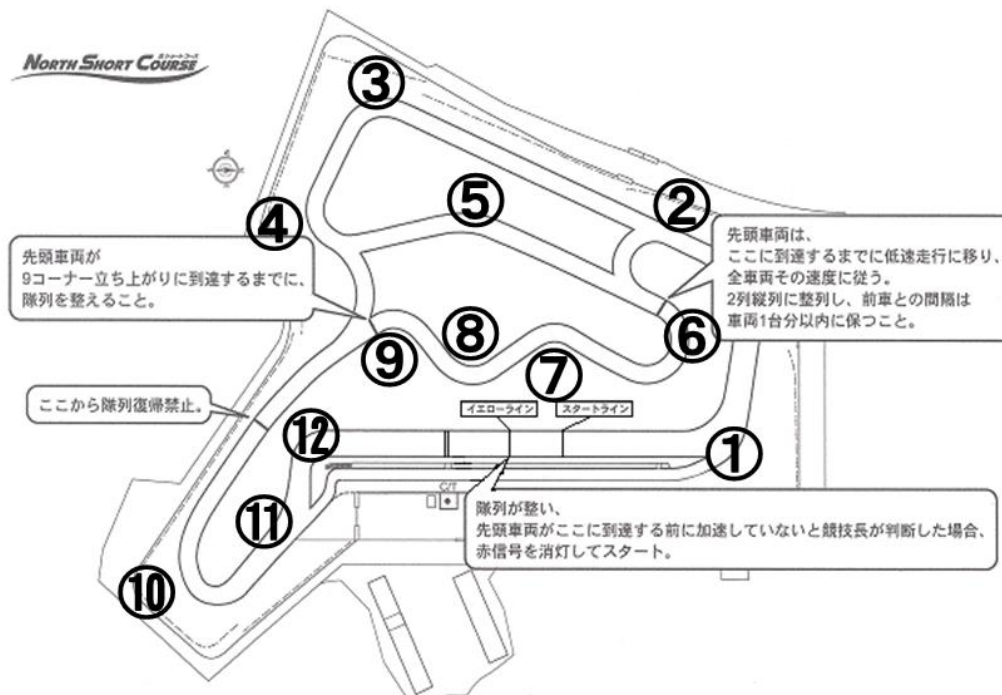
アスファルト部分ピット作業禁止

- 5) ピットロードに設置されたシケイン通過後は加速をしないこと。シケインへの接触は、徐行違反としてペナルティを課す場合がある。
- 6) 公式練習では走行終了 30 秒前にピットロードをクローズする。

【タイムトライアル】

- 7) タイムアタック開始後にピットインした車両はすべてパルクフェルメに入らなければならない(ピットインした車両は再トライ不可)。
- 8) タイムトライアル中の後続車両に対する走路妨害(プッシング、極度のブロックングなど)に対するペナルティが適用となる場合がある。

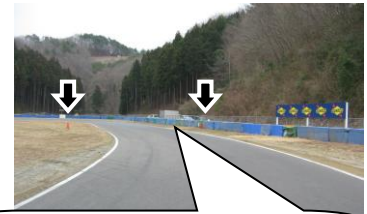
【フォーメーションラップ・スタート ※対象：OK部門・FS-125CIK部門】



- 9) スタートが合図される前に、約 1 周のフォーメーションラップを行う。ドライバーは 2 列の隊列で一定のペースを保ち、隊列を整えてスタートラインへ向かい、スタートライン 25m 手前に引かれたアイエローラインを越えるまでフロントローは加速してはならない。
- 10) フォーメーションラップ開始 5 分前にダミーグリッド入口が閉鎖となる。審査委員会が認めた場合を除き、5 分前までにダミーグリッドに進入できなかったカートは出走できない。3 分前までにカートがダミーグリッドに着いていなければならない。

裏面に続きます ↓

- 11) FS-125CIK 部門については、3 分前までにドライバーおよびピットクルー 1 名以外はダミーグリッドから退去しなければならない。1 分前以降、フォーメーションラップ開始までの間であればいつでもエンジン始動可能だが、1 分前以降はピットクルーの援助は一切認められない。
- 12) ダミーグリッドからの発進(押し掛け)は、1 コーナー手前のシグナル位置までとし、エンジンの掛からないカートはピットに戻す。
- 13) イエローラインは 3 番ピット前のライン、スタートラインは 8 番ピット前のライン。
- 14) スタートの合図はシグナル(灯火信号)で行う(赤点灯→消灯でスタート。消灯されない場合はフォーメーションラップ継続)。
- 15) フロントロードドライバーは後続ドライバーが追いつけないようなスピードでフォーメーションラップをしないように注意すること。フォーメーションラップ中に隊列のペースを乱した場合、当該ヒートの結果に 10 秒加算となる。
- 16) フォーメーションラップの隊列が 10 コーナー手前のパイロンまできた時点でピットロードエンドをクローズする。その時点でスタートが切られた場合はピットスタートできない。
- 17) フォーメーションラップ中に何らかの理由で自己のポジションから遅れてしまった場合、スタートライン～10 コーナー手前に設置されたパイロン位置までの区間であれば、前車を追い越して自己のポジションに復帰することが出来る。パイロン位置を過ぎてスタートラインまでの区間で自己のポジションに復帰した場合は、当該ヒート失格となる。また、隊列復帰禁止区間でなくても、自分がフォーメーション周回遅れになって、隊列に自分を追い越させる形で自分のグリッドに戻ることはできない。この場合、ドライバーは黒旗の対象となる。なお、フォーメーションラップに大きく遅れたと判断され、白地に赤バツテンのボードが表示されたドライバーは、最後尾に付かなければならない(ミススタートとなった場合も解消されない)。
- 18) スタート時、コントロールラインからスタートラインまでの間にコース中央部分に隊列形成のための白線が 2 本引かれている。スタート合図が出されるまでこの白線から半車身以上離れた所を走行してはならない。これに違反したドライバーはペナルティの対象となる。
- 19) フォーメーションラップの開始からスタートまではピットサインエリアは立ち入り禁止とする。



隊列復帰禁止区間のパイロンは SUNOCO 看板過ぎの両サイドに設置

【信号旗】

- 20) 競技を中断する必要があると見做された場合、全ポストで赤旗を提示される。赤旗が提示された場合は、直ちに追い越し等をせず徐行し、ホームストレートまで安全に走行した上で、オフィシャルの指示に従い、1 コーナー手前のパイロンで示された停止位置のコース左右に停止すること。
- 21) 競技を中断するに至らないと見做された場合、ニュートラリゼーションが実施され、全ポストで振動黄旗および「SLOW」ボードが提示される。
- 22) 黄旗提示区間の徐行・追越禁止を厳守すること(黄旗静止時：徐行、黄旗振動時：停止準備)。オレンジボール旗は最終周では振られない。ただしヒート後の車検でペナルティを受ける場合がある。
- 23) ミススタート旗提示の際、全ポストにて振動黄旗も提示される。ドライバーはオフィシャルからのミススタート指示を確認後、周囲の車両に対して可能な限り合図(手を頭上高く上げる)を行い、再スタートに備えて隊列を整えること。
- 24) 決勝ヒートにおいて、周回遅れおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対して、青・赤旗(青地に赤バツテン)が提示される。提示されたドライバーはピットインし、レースを止めなければならない。ピットインしない場合は、黒旗の対象となる。
- 25) チェッカーフラッグを受けた車両には黄旗を提示する。全車、黄旗に従い、車検場に入ること。ドライバーのミスによるチェッカーフラッグの見落とし(W チェッカー)は警告とするが、コース上にオフィシャルが立ち入っている場合もあり、見落とすことのないよう十分注意すること。
- 26) 信号旗の提示場所(参考)

信号旗	場所
黒旗、青・赤旗(青地に赤バツテン)	コントロールライン上
ミススタート旗※	3 コーナー手前
白黒旗	6 コーナー、コントロールライン上
白地に赤バツテン	6 コーナー

【その他】

- 27) 走行後のカート回収は基本的にはレッカー車が行うが、10 コーナーから 2 コーナーまでのエリアの回収についてはピットクルーで行うこと(放送およびオフィシャルの合図の後、速やかに回収を行うこと)。
- 28) ピットサインエリアではウォールより高い脚立の使用は禁止。
- 29) 火気および高熱を発生するもの(溶接機、サンダー等)は、公式通知 No.5 で示した「火気作業エリア」で使用すること。
- 30) データロガーの設置場所はピット出口側のゼブラゾーンとする。
- 31) 公式練習中の音量の確認は、コントロールタワーのピット側で行う。なお、レース中の音量違反者には、黒旗が提示される。
- 32) コース上に停止し、コース委員の指示に従わなかった場合、または後続車両通過前に再スタートした場合は、1 周減算とする。
- 33) 復帰するための最小限の方向転換は認める。
- 34) ストレート走行中、空気抵抗を減らす目的で顔を伏せる姿勢を取るドライバーがいるが、視野(目線)まで伏せることは厳禁であり、如何なる状況下であっても前方の視野を保っておくこと。
- 35) 走行中に吸排気消音器が脱落した場合は、即座に安全な場所に停止または徐行にてパルクフェルメに移動すること。この場合、当該ヒートは失格とする(公式練習を除く)。脱落して走行し続けた場合は、レース失格とする。
- 36) パドックエリア、ウェイトングエリア、ダミーグリッドにおけるエンジン始動については、カートが走行可能な装備等を具備し、リアタイヤが地面に接地した状態でのみ認められる。ただし、公式通知 No.5 で示した「始動確認エリア」においては、リアタイヤが地面に接地しない状態での始動が認められる。時間は概ね 2～3 秒以内とする。

以上